

(取組の概要)

1 背景・ねらい

ドテラ(土曜寺子屋)と月テラ(月曜寺子屋)はともに2011年よりスタートし、神守中学校地域学校協働本部(通称:豆ボラ神守)が主催・運営する学習支援活動。既に15年が経過して2015年度



からは地域未来塾事業として活動しています。元は、学校のニーズから始まった活動で、高校受験など進路への不安や悩み、学習への苦手意識や勉強の仕方などの分からなさに寄り添いながら、年齢が近く相談しやすい大学生や高校生や退職教員が支援すること(ナナメの関係)で始まりました。

不登校生徒が多かった時期に、教員以外の地域の人々から気軽に学べる校内にある学びの場であり、ホッとできる居場所として始まり、不登校気味だった生徒や外国籍の生徒、特別な指導を必要とする生徒も参加して、既に160名以上の生徒が卒業していきました。

2 対象校・対象者
実施の形態

ドテラは、受験対策を中心にした学習支援で、中3生を対象。月テラは、全学年対象とし学習習慣の定着と、テスト勉強の方法や学び方、不得意分野の克服など、分からないところを聞いたりして、学びの楽しさを目指しています。

3 実施教科

5教科 + 受験や勉強の悩みや相談 + 面接指導(ドテラ・月テラ)

4 実施場所

神守中学校内「ちいきの広場(10月~)」または「図書室(9月まで)」

5 実施日・回数
実施時間帯

月テラは、9月~2月までの約15回の月曜日 15:00~17:00の2時間。
ドテラは、8月~2月までの約21回の土曜日 9:30~11:30の2時間。

6 登録人数

月テラ36名(中1:11名、中2:13名、中3:12名)、土テラ12名

7 参加人数(平均)

ほぼ毎回全員が参加しています。

8 コーディネーター
一等の取組の様子

生徒の保護者との連絡情報ファイルの交換、大学生等の講師数確保のための連絡と情報発信、学校との情報共有のための連絡、運営スタッフ(協働活動リーダー・サポーター)と、運営や生徒への配慮事項に関する打ち合わせなど、毎週4時間の運営のために、細かな準備や配慮をしながら進めています。生徒と講師と運営スタッフが共に心地よい空間や人とのつながりがあったからこそ、15年間継続ができています。

(取組の結果・効果)

ドテラで学んだ生徒が高校生や大学生になり、講師として支援に来てくれる循環ができ、毎年、卒業生が来てくれています。1、2年生も、同じ教室で先輩の頑張っている姿をみて、目標や気持ちを新たにす
る良い影響を与え、3年生には志望校の生の情報や受験勉強で気をつけること・中学時代にやっておいた
ほうが良いことも聞けるよい機会になっており、ナナメの関係の効果をあげてくれました。学校での授業
ではなかなかできない「先輩から後輩への学びの場」の設定は、地域の運営だからこそ、様々な思いを形
にできる可能性のある場であると、運営スタッフも、何ものにも代えがたい喜びを感じています。

この学びの場は、学力向上も大きな目的ではありますが、生徒のストレスの緩和や将来への不安や悩み

を和らげることが一番の目的だと、スタッフ一同も意識して対応しています。年齢に近い高校生や大学生との出会いが、学習への意欲づけに大いに役立っている場面を多く見かけます。9月のスタート時点に比べ、半年後の2月には、毎年、ほとんどの生徒の学びに向かう姿勢や意欲に大きな成長が見られます。また、本人からも、以前よりも成績が上がったと8割以上の生徒から耳にし、見学に来た担任の先生からも、ドテラや月テラに参加していることで、成績が大きく落ち込むことなく持続しているとの言葉がありました。